カンボジア

～ナチュラル素材☆ハンドメイド～

手織物の展示&バザーのお知らせ

Date：２０１９年 10 月 19 日、20 日

Time：19 日（土）：12 時～16 時

20 日（日）：11 時～16 時

会場：日本女子大学日女祭（ひめのさい）

西生田キャンパス　45 番教室

最寄り駅：小田急線読売ランド前駅/向ヶ丘遊園駅

Contents：

☆CYR－カンボジアで保育、女性の雇用創出分野で活動する NPO 法人による手織物製品の展示&販売

大型 絹絵絣壁掛け布（ピダン）、

マスコット、巾着、シルクポーチ、名刺入れ

シルクスカーフ、藍染スカーフなど

☆『カンボジアの伝統織物ができるまで』（DVD）の上映

☆カンボジアを知ろう！Quiz（ミニ景品あり）

☆カンボジアの生活を彩る様々な布、ドレスの展示

Contact：cambodiahimenosai@gmail.com
（サバーイ！カンボジア織物の会）

☆カンボジアの人々が丹精込めてつくったおしゃれでかわいい品々を取り揃えています。制作に長期間かかる貴重なピダンも6 点展示予定。ぜひこの機会にご覧ください。

☆Instagram：weaving_101920

☆収益は、CYR（認定 NPO 法人幼い難民を考える会）に還元いたします☆

西生田キャンパスへのアクセス⇒

カンボジアの伝統絹絵絣『ピダン』とは

カンボジア織物文化の中でも、伝統絹絵絣ピダンはカンボジア文化や伝統の奥深さ、技能の素晴らしさを象徴しています。ピダンは綾織りで文様を描いた世界でも稀な織物で、アメリカのスミソニアン博物館、平山郁夫シルクロード美術館などにも所蔵されています。しかし、長く続いた内戦により、伝統的絵柄のピダンの多くが消失、または海外へと流出しました。

ピダンとはカンボジア語で「天井」を意味し、仏教寺院の装飾に用いられる絵絣で、仏像の頭上や背後、天井に飾られます。内戦前、人々はお寺にピダンを奉納し、お盆や葬式、結婚式などでは家に飾る風習がありました。人々はピダンが仏像を守るように自らが仏に守られ、平穏無事に生きられるよう無病息災の願いを込めました。

幼い難民を考える会は内戦で途絶えかけた伝統文化を復興・伝承するため、カンボジア人技術者の協力を得て、草木染めと織りの技術指導を行っています。タケオ州にある当会織物研修センターでは農村の女性たちに技術指導をするとともに、伝統的なピダンの復元に取り組んでいます。

「認定 NPO 法人　幼い難民を考える会　パンフレット「カンボジアの伝統絹絵絣『ピダン』」より」

日女祭で展示されるピダン

ピダン　孔雀　（97×137cm）

日女祭期間中に出品予定のピダン一覧

① ナーガ　馬　（92×120cm）
② シップクロス　（95×130cm）
③ ベッサンタラ太子物語（96×98cm）
④ 魅惑の森　（95×190cm）
⑤ 藍染め　シーモティーフ（96×157 ㎝）
⑥ 孔雀　（97×137cm）

※出品は予定となります。ご購入も可能です。
※天然の染料を使用。染料や括り糸の見本なども展示します。

NPO 法人　幼い難民を考える会　Caring for Young Refugees

幼い難民を考える会（CYR）は、保育士の女性たちが中心となって 1980 年に設立されました。カンボジアでの内戦がひきおこした難民の惨状を見て、何かできることはないかと立ち上がった女性たちです。1979 年秋、難民キャンプに入り、生きる権利さえ危うくされた子どもたちの暮らしを目の当たりにして、この子たちのためにせめて心安らげる場をつくりたいと、帰国後、世論に広く訴えたのがはじまりです。（中略）難民キャンプ閉鎖に伴い、1991 年、拠点をカンボジア国内に移し、活動を発展させていったのです（同会ホームページより）。

現在、カンボジアの保育活動支援事業、女性の自立支援事業、カンボジア織物の製品販売事業を行っています。

本企画の CYR 製品の展示&バザーは、CYR のご協力のもと、委託販売として行っています。

【CYR　ホームページ】 http://www.cyr.or.jp/work/index.html